

復興県民会議

被災者本位の日も早い復旧・復興を

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル 5F いわて労連内

☎ 019-625-9191

FAX 019-654-5092

eメール fukkou_ikg@fukkoukaigi.jpn.org

No.36 (2017/5/31)

ハーモニカの音色にいやされて



演奏するアルク・アンシェルのみなさん(岩泉)

東日本大震災が発生してからは、岩手・宮城・福島の被災地の支援も加わり、カンパを集め、訪問して被災者との交流や支援物資の配布などを続けてきました。今回、神奈川県のアマチュアグループ「アルク・アンシェル」の皆さんと一緒に参加し、ハーモニカコンサートと合唱が行われました。(CDも出しているそうです)

「大きな声で歌ったのは久しぶり!!」(参加者の声)

歌詞カードが配られ、コンサートの後半は、四季の歌や北国の春などおなじみの曲を参加者一同で歌いました。宮古では、仮設団地から自力再建や災害公営に移った皆さんが、宮古社協さんからのお知らせで集まって下さいました。参加者は、「普段は大きな声で歌う機会がない」とのこと、笑顔があふれていました。帰りには、ユニオンセンターさんからお茶菓子とラーメンが全員に配られました。

宮古・岩泉を視察、南部三閉伊一揆の資料館にも

翌日、ユニオンセンターさんは、休暇村陸中宮古を出発し、現地の前川昌人氏の案内で、宮古市田老地区の復興の状況を視察し、足を伸ばして田野畑村民俗資料館にも立ち寄って南部三閉伊一揆にも触れて頂きました。その後、岩泉でハーモニカコンサート。終了後、お茶菓子・ラーメン・カレー・お米などが配られました。車3台に分乗し10時間かけて岩手まで支援においで頂いたユニオンセンターの皆さん、本当にありがとうございました。

ユニオンセンター様 ありがとうございました

4月22~23日、神奈川県川崎市のユニオンセンターさん18名が、宮古市田老のグリーンピア三陸宮古通称「グランド集会所」と岩泉町「中野仮設団地談話室」で被災地支援を行いました。ユニオンセンターは、池貝鉄工や石川島播磨、高見沢電機などで解雇撤回闘争をたたかってきた元争議団の方々に、自らの経験から、闘争資金づくりのための物資斡旋活動を取り扱う有限会社を立ち上げ、現在は、明治乳業をはじめ様々な労働争議を支えています。



みんなで楽しいひとときをすごしました(宮古)

被災者切り捨て許すな

捨て許すな！国の責任で復興を 5・10国会行動



開会前に記念撮影する岩手県の参加者

て、日本共産党の国会議員の堀内照文、畠山和也、大平喜信の3氏が出席し、代表して堀内議員があいさつ、被災地からの発言は、代表して宮城県教組書記長の笹川聡さんが行いました。続いて、全国災対連・川村好伸事務局長が行動提起を行い、内閣府・復興庁・厚生労働省・国土交通省の担当者との交渉を行い、(福島は別室で経済産業省、復興庁、環境省と交渉)、その後、全体集会を再開し、国会議員への署名提出、あいさつを受け、被災各県からの発言ののち、住江憲勇代表世話人(全国保団連会長)のまとめと閉会で終了しました。

被災地からの発言(山田町・田代盛一さん)

＝岩手県代表団を代表して、山田町在住の田代盛一さんが訴えました＝

大震災による津波被害と直後の火災で500戸超あった住宅が150戸しか残りませんでした。私は、もはや自称「限界老人」と言い続けています。最近、国道に接続する新道ができて新旧の住民が散歩する様子を見て「ほほえみ新道」と呼んでいます。ぜひ、近くに広場やベンチ・水道などを設置して憩いの場を作ってほしいと思っています。災害時に孤立集落が出ないように迂回路も必要です。JR山田線の鉄路復旧では、線路をかさ上げし、乗客の安全を第一に考えて、車窓から海が見えるようにしてほしいです。



岩手の被災地報告をする田代盛一さん



あいさつする木戸口英司参議院議員

5.10国会総行動に全国から200人参加

全国災対連と岩手・宮城・福島の被災3県、熊本共同センターの主催で、「被災者切り捨て許すな！国の責任で復興を5.10国会行動」が衆議院第1議員会館大会議室で開催され、岩手の26人をはじめ宮城、福島、茨城、兵庫、熊本、新潟など各県と中央団体からあわせて200人が参加しました。全国災対連・小田川義和代表世話人(全労連議長)のあいさつに続いて、

全体集会には、民進党、日本共産党、自由党の国会議員が参加し、あいさつしました。自由党から岩手選出の木戸口英司参議院議員が出席し、国会請願署名を受け取って頂きごあいさつを頂きました。木戸口さんは、釜石の山林火災に触れ全国からの見舞いに感謝を表明し、「避けられない大規模自然災害。住宅再建支援金を500万円に。被災者が希望の持てる復興へさらなる支援が必要」とお話ししました。署名は2万7千筆提出され、これまでの分とあわせて6万筆を超えました。引き続き、秋の国会にも提出します。